

お客さま本位の業務運営にかかる取組状況・指標（KPI）

南都銀行グループ※は、なんとミッションとして「地域を発展させる」「活力創造人材を創出する」「収益性を向上させる」を掲げ、お客さまの資産形成に資する取組を通じて、地域の持続的な発展と当行グループの安定的な成長を目指します

その取組として、お客さまの安定的な資産形成に向け、「お客さま本位の業務運営にかかる取組方針」とアクションプラン、取組の成果を確認するための当行グループ独自の指標（以下：独自のKPI）を定めています

この指標は、「投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」（以下：共通KPI）とともに、毎年3月末基準の数値を公表してまいります

※対象となるグループ会社：株式会社南都銀行、南都まほろば証券株式会社

「共通KPI」（投資信託）

運用損益別お客さま比率（図1・2）

- ✓ 投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別のお客さまの比率を示した指標

投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン（図3～8）

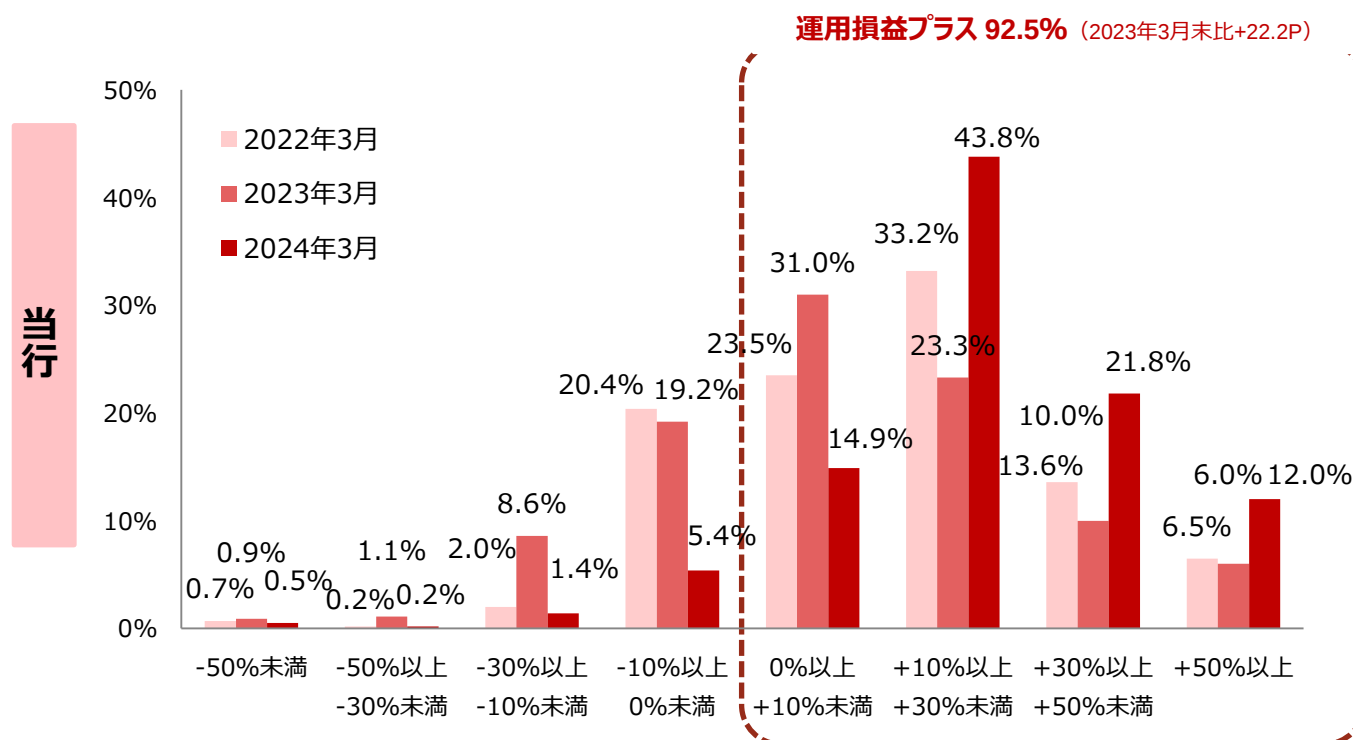
- ✓ 中長期的にどのようなコスト・リスク／リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを示す指標（過去5年間の平均実績）
- ✓ 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預かり資産残高加重平均のコストとリターン／リスクとリターンの関係を示した指標

コスト	当行販売手数料上限の1/5と信託報酬率の合計値
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

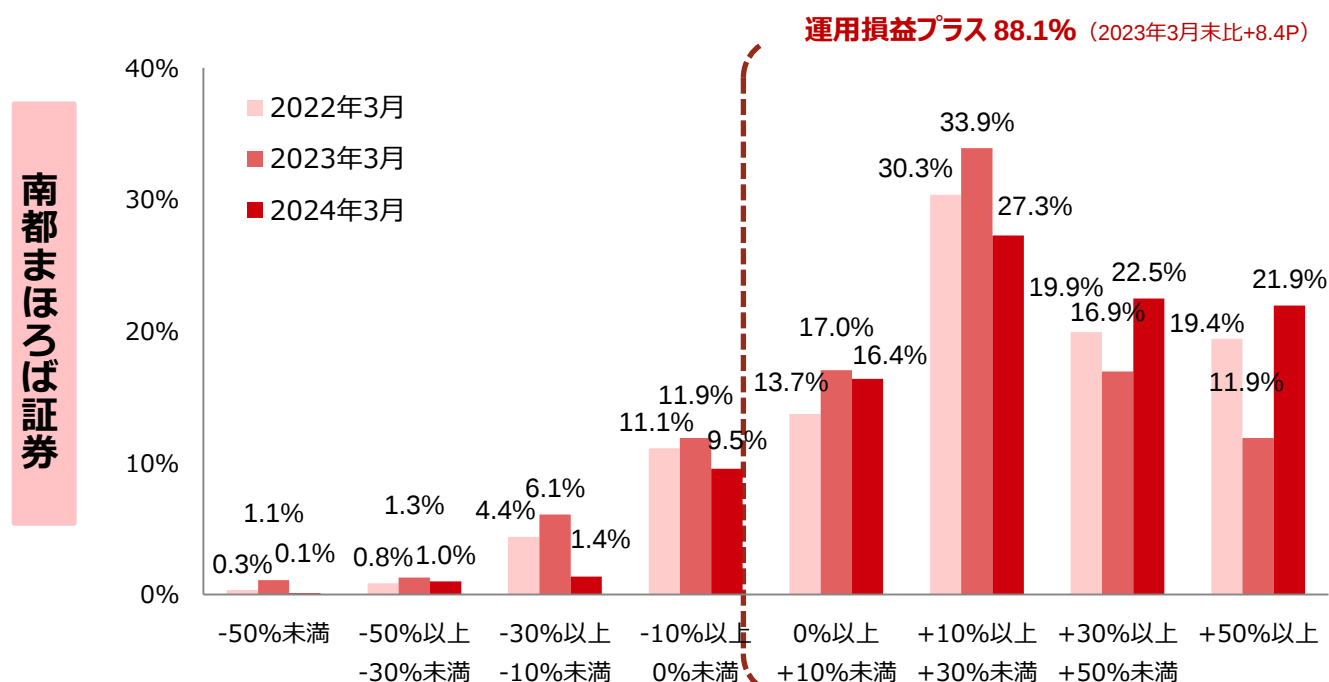
運用損益別お客さま比率

- ✓ 当行の運用損益プラスのお客さまの比率は、マーケットの影響もあり、前年比22.2ポイントプラスの92.5%となりました。南都まほろば証券も同比8.4ポイントプラスの88.1%となりました（図1・2）

（図1）



（図2）



株式会社南都銀行

投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

- ✓ 投資信託預かり残高上位20銘柄のうちリターンがコストを上回ったのは19銘柄です（図3）
- ✓ 投資信託預かり残高上位20銘柄の平均コストは前年比0.03ポイントプラスの1.69%、平均リスクは同比0.84ポイントプラスの16.02%、リターンは同比5.53ポイントプラスの11.00%に上昇しました（図4・5）

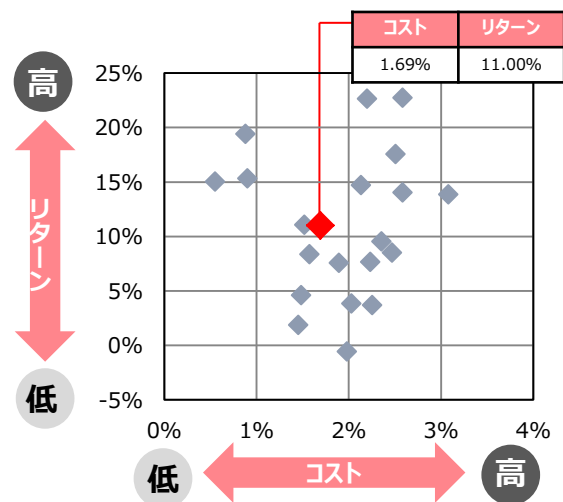
（図3） 投資信託預かり残高上位20銘柄の一覧（2024年3月末基準）

No.	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	日経225ノーロードオープン	0.55%	17.03%	15.03%
2	ひふみプラス	1.52%	14.13%	11.06%
3	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	15.57%	8.52%
4	フィデリティ・リート・アクティブ・ファンド	1.49%	14.87%	4.59%
5	投資のソムリエ	1.98%	3.95%	-0.58%
6	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）（ラッキー・カン트리）	2.35%	23.50%	9.54%
7	人生100年時代・世界分散ファンド（3%目標受取型）	2.03%	7.71%	3.84%
8	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド（健次）	3.08%	14.82%	13.85%
9	ニッセイJ-REITファンド（毎月決算型）	1.45%	14.74%	1.88%
10	次世代通信関連世界株式戦略ファンド（THE 5G）	2.51%	22.85%	17.55%
11	新光US-REITオープン（ゼウス）	2.30%	18.42%	7.66%
12	インデックスファンド225	0.90%	17.02%	15.33%
13	SMTグローバル株式インデックス・オープン	0.88%	17.17%	19.40%
14	グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
15	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	21.46%	3.68%
16	グローバルSDGs株式ファンド	2.13%	13.69%	14.70%
17	グローバル3資産ファンド（ワンプレートランチ）	1.89%	12.60%	7.55%
18	ニッセイ・インド厳選株式ファンド	2.58%	24.17%	14.04%
19	のむらっぴ・ファンド（普通型）	1.57%	9.29%	8.36%
20	フィデリティ・米国株式ファンドBコース（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.20%	17.85%	22.64%
残高加重平均値		1.69%	16.02%	11.00%

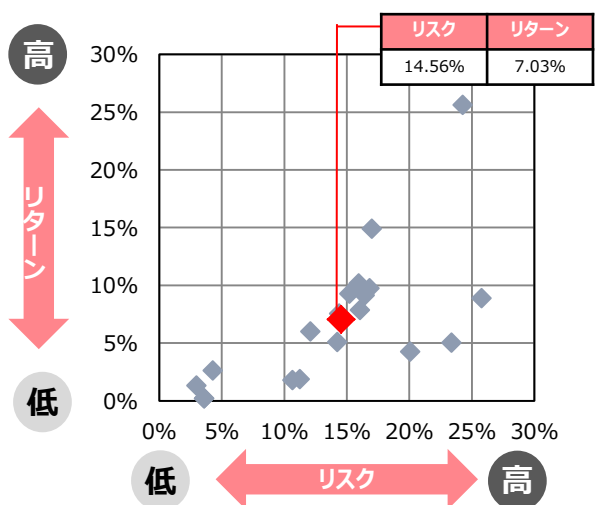
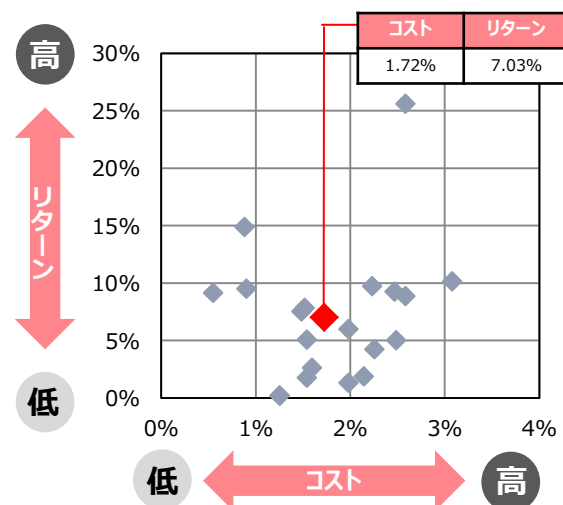
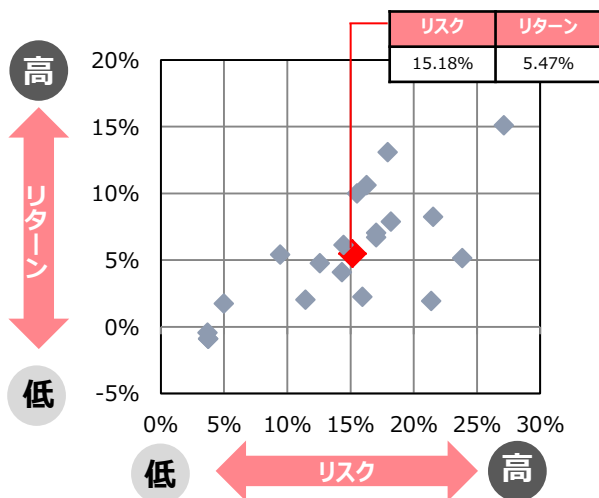
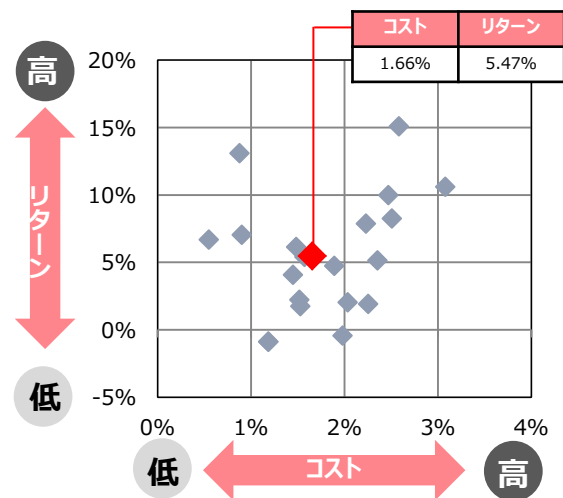
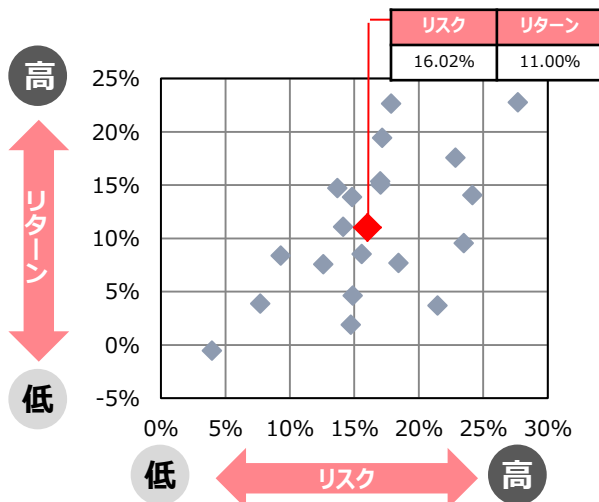
コスト			リスク	リターン
全体	販売手数料率	信託報酬率		
販売手数料の1/5 + 信託報酬率	取扱時の最低販売金額 での料率	実質的な信託報酬率 の上限	過去5年間の月次リターン （年率換算）	過去5年間のトータルリターン （年率換算）

【南都銀行】 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

(図4) コスト・リターン



(図5) リスク・リターン



南都まほろば証券株式会社

投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

✓

南都まほろば証券の投資信託預かり残高上位20銘柄のうちリターンがコストを上回ったのは19銘柄です（図6）

✓

南都まほろば証券の投資信託預かり残高上位20銘柄の平均コストは前年比0.02ポイントマイナスの2.16%、平均リスクは同比0.53ポイントマイナスの17.19%、リターンは同比2.43ポイントプラスの9.63%に上昇しました（図7・8）

（図6） 投資信託預かり残高上位20銘柄の一覧（2024年3月末基準）

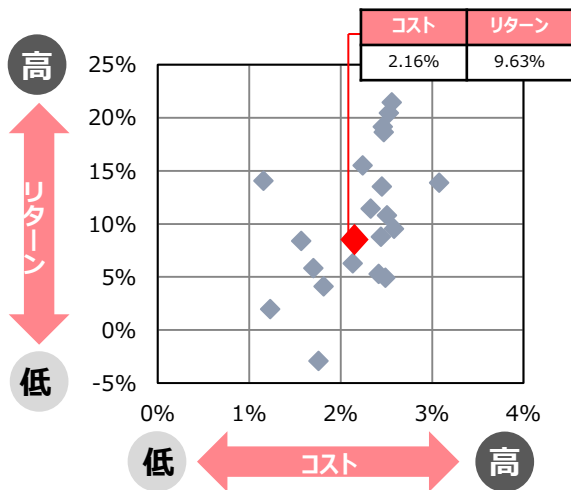
No.	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワ・U S – R E I T・オープン（毎月決算型）Bコース	2.33%	18.94%	11.41%
2	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.82%	9.80%	4.08%
3	ダイワJ – R E I Tオープン（毎月分配型）	1.23%	15.30%	1.96%
4	三菱U F J マッコーリーグローバルインフラ債券ファンド為替ヘッジあり（毎月分配型）	1.76%	10.70%	-2.92%
5	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.26%	20.42%
6	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51%	21.72%	10.79%
7	ベトナム株ファンド	2.45%	25.75%	13.49%
8	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	17.24%	5.26%
9	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	2.24%	9.84%	15.50%
10	のむらップ・ファンド（普通型）	1.57%	9.29%	8.36%
11	三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド	2.44%	19.63%	8.77%
12	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー	2.48%	22.23%	18.63%
13	グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.56%	22.11%	21.44%
14	ダイワ・グローバルI o T 関連株ファンド A I 新時代（為替ヘッジなし）	2.47%	22.19%	19.15%
15	ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）	1.71%	7.79%	5.81%
16	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.13%	18.70%	6.26%
17	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
18	アジア好利回りリート・ファンド	2.49%	19.46%	4.92%
19	ダイワJ P X 日経4 0 0 ファンド	1.16%	14.62%	14.04%
20	グローバル・スペース株式ファンド（1 年決算型）	2.59%	24.60%	9.53%
残高加重平均値		2.16%	17.19%	9.63%

コスト			リスク	リターン
全体	販売手数料率	信託報酬率		
販売手数料の1/5 + 信託報酬率	取扱時の最低販売金額 での料率	実質的な信託報酬率 の上限	過去5年間の月次リターン （年率換算）	過去5年間のトータルリターン （年率換算）

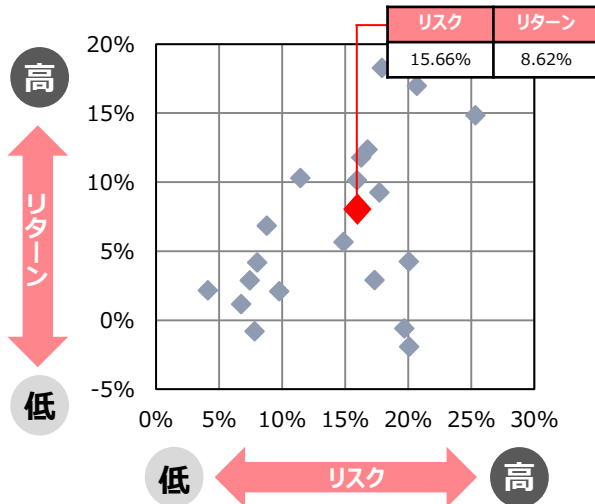
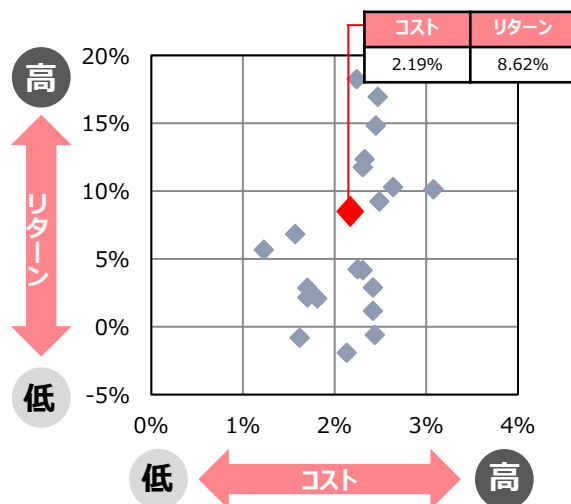
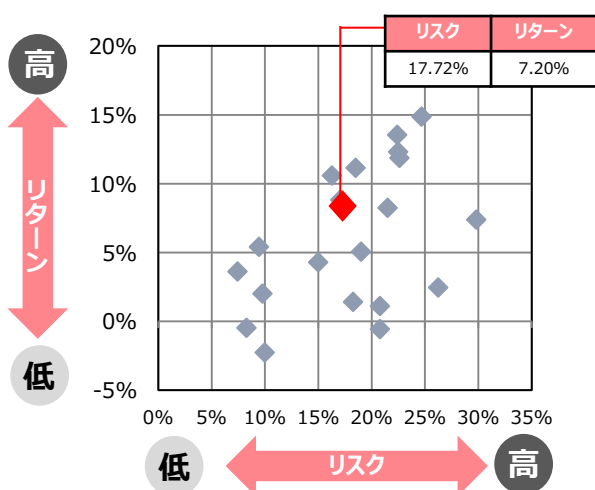
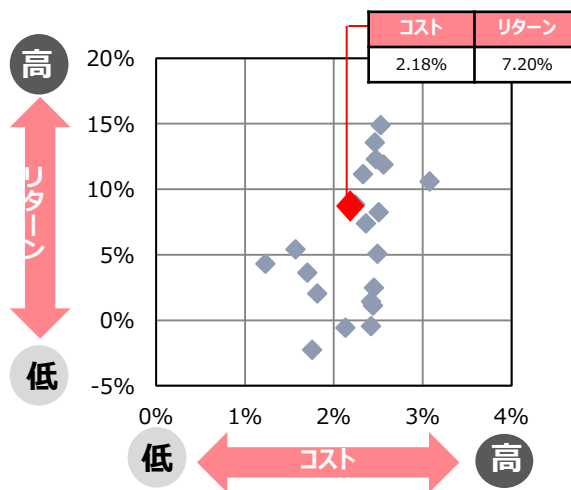
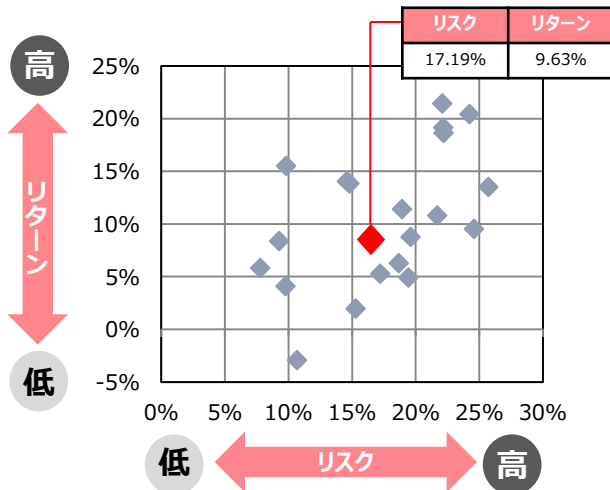
【南都まほろば証券】

投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

(図7) コスト・リターン



(図8) リスク・リターン



コスト			リスク	リターン
全体	販売手数料率	信託報酬率		
販売手数料の1/5 + 信託報酬率	取扱時の最低販売金額 での料率	実質的な信託報酬率 の上限	過去5年間の月次リターン (年率換算)	過去5年間のトータルリターン (年率換算)

「共通KPI」（生命保険）

運用評価別お客さま比率

- ✓ 外貨建保険を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有外貨建保険の購入時以降のリターンを算出し、運用評価別のお客さまの比率を示した指標

外貨建保険預かり残高上位20商品のコスト・リターン

- ✓ 中長期的にどのようなコスト・リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提案してきたかを示す指標
- ✓ 契約後5年以上保有している契約について、銘柄ごとおよび預かり資産残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標

コスト 契約時手数料と継続手数料の合計値を契約期間で年率換算

リターン 基準日時点の解約返戻金額と既支払金額の増加率を年率換算

※リスク・リターン共に上記内容で年率換算したものを各契約の一時払保険料で加重平均

※ 外貨建保険は保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります

※ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります

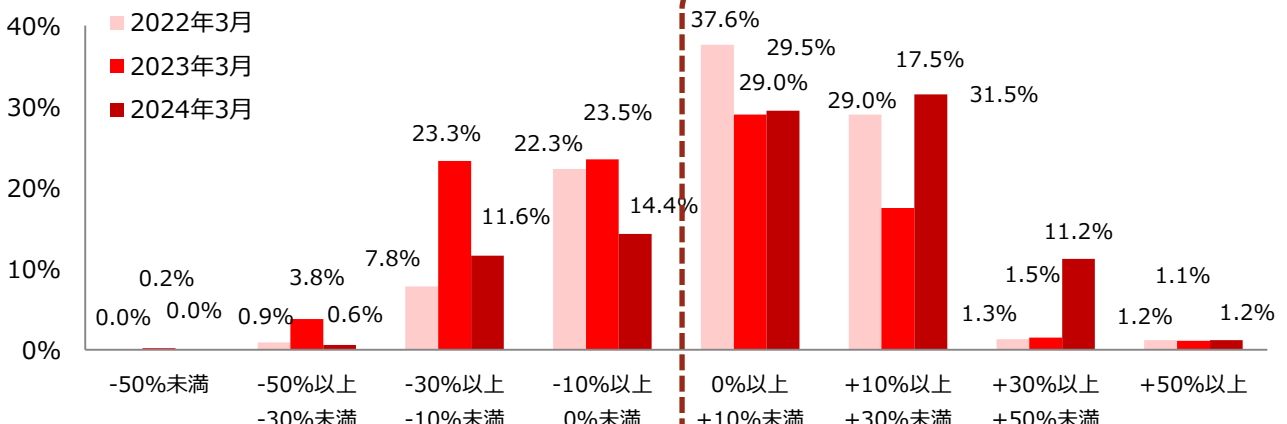
運用評価別お客さま比率

- ✓ 当行の運用評価プラスのお客さまの比率は、マーケットの影響もあり、前年比24.3ポイントプラスの73.4%となりました（図9）

（図9）

運用評価別お客さま比率

運用評価プラス 73.4%（2023年3月末比+24.3P）



外貨建保険預かり残高上位20商品のコスト・リターン

- ✓ 外貨建保険預かり残高上位20銘柄のうちリターンがコストを上回ったのは19銘柄です (図10)
- ✓ 外貨建保険預かり残高上位20銘柄の商品別のコストは前年比0.03ポイントプラスの0.77%、リターンは同比1.76ポイントプラスの2.97%となりました (図11)

(図10)

外貨建保険預かり残高上位20商品の一覧

No.	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデン E X	0.93%	3.43%
2	サニーガーデン	0.61%	2.29%
3	しあわせ、ずっと	0.76%	1.58%
4	やさしさ、つなが	0.62%	0.43%
5	夢のプレゼント	0.60%	4.60%
6	ふるはーと J ロードグローバル	0.90%	4.38%
7	ビーウィズユー (U Sドル建)	0.67%	4.31%
8	プレミアプレゼント	0.85%	4.10%
9	ファイブ・ステップ U S	0.55%	5.22%
10	ビーウィズユー (豪ドル建)	0.75%	1.31%
11	ビーウィズユー・プラス	1.17%	1.34%
12	プレミアカレンシー・プラス 2	0.79%	4.42%
13	三大陸	0.18%	2.49%
14	ロングドリーム G O L D 2	1.04%	6.34%
15	おおきな、まごころ	0.89%	3.33%
16	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	0.91%	1.42%
17	プレミアストーリー 2	0.79%	2.99%
18	生涯プレミアムワールド 4	0.89%	1.71%
19	ロングドリーム G O L D	0.83%	1.88%
20	アテナ	0.25%	3.23%
残高加重平均値		0.77%	2.97%

コスト	契約時手数料と継続手数料の合計値を契約期間で年率換算
リターン	基準日時点の解約返戻金額と既支払金額の増加率を年率換算

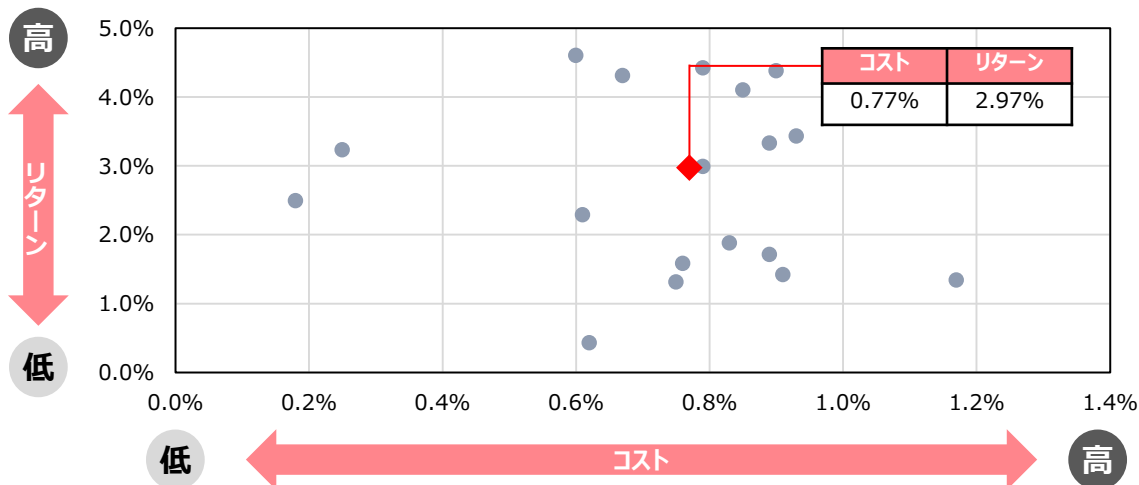
※リスク・リターン共に上記内容で年率換算したものを各契約の一時払保険料で加重平均

(図11)

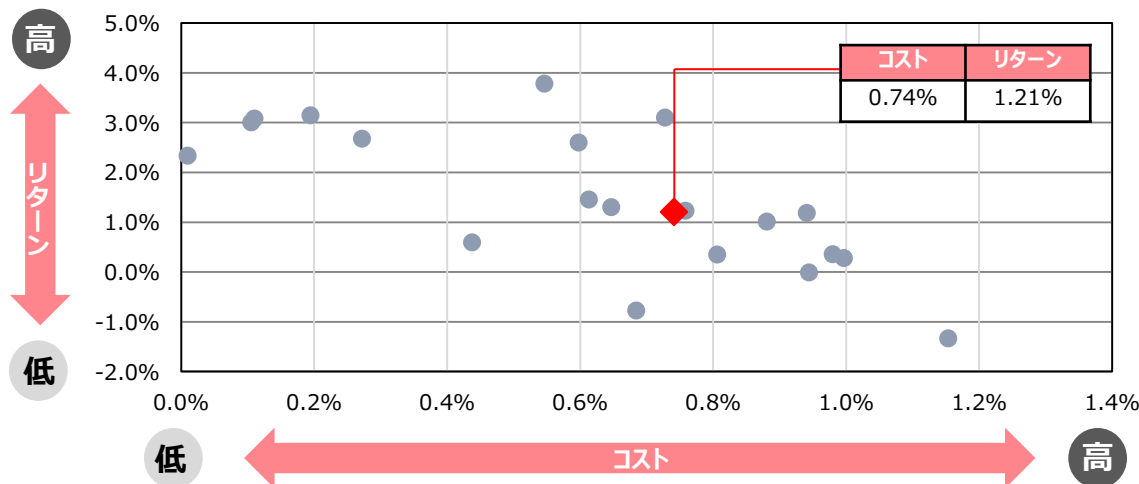
外貨建保険預かり残高上位20商品のコスト・リターン

(◆は各年度末時点における残高加重平均値)

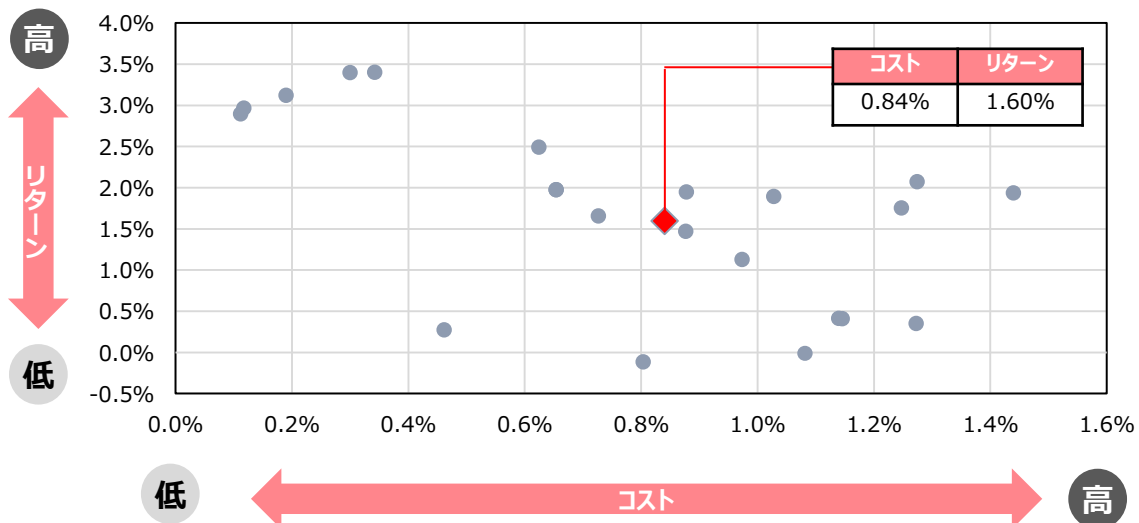
2024年
3月末



2023年
3月末



2022年
3月末



「独自のKPI」と「取組状況」

独自のKPI

お客さまの最善の利益
の追求

- ✓ 投資信託残高・口座数 (図12)
- ✓ 南都まほろば証券 金融商品仲介残高・口座数 (図13)
- ✓ FP資格保有者数 (FP1級・FP2級) (図14)

お客さまにふさわしい
サービスの提供

- ✓ 投資信託平均保有期間、保有期間別の運用損益プラスのお客さま比率 (図15・16)
- ✓ 投信積立契約数、年間投信積立振替額、投信積立運用損益別お客さま比率 (図17・18・19)
- ✓ 投信積立サービスの積立期間別の運用損益プラスのお客さま比率 (図20)
- ✓ NISA契約件数 (図21)
- ✓ お客さま向けセミナーの開催状況 (図22・23)
- ✓ アフターフォローの実施状況 (図24・25)

お客さま本位の实践に
向けた従業員の動機付けや
企業文化定着への取組

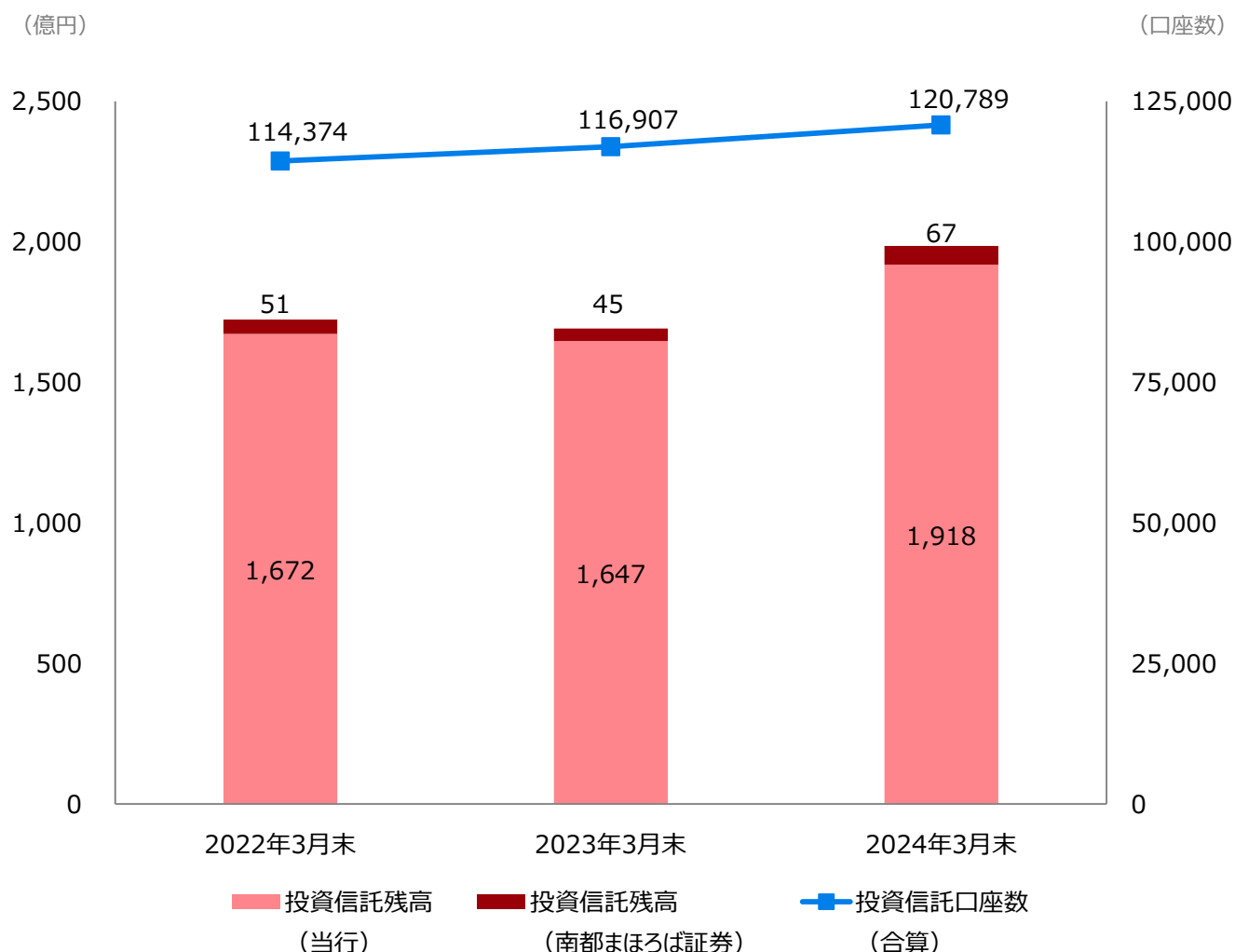
- ✓ FD関連研修・勉強会等の開催状況 (図35)

お客様の最善の利益の追求

- ✓ 当行はお客様の最善の利益をお客様の資産を「そだてる」と考え、お客様お一人おひとりの多様な価値観・ニーズに基づいたライフプランの実現に貢献できるよう、グループ会社と連携し、質の高いコンサルティングに努めています（取組方針 1（1）（2））
 - ・ 投資信託は残高・口座数ともに増加しました。金融商品仲介は残高は減少しましたが、口座数は増加しました（図12・13）（南都銀行での仕組債販売は2022年10月から停止しています）
- ✓ お客様に付加価値の高いサービスを提供させていただくために、専門性の高い人材の育成に取り組んでいます（取組方針 1 アクションプラン②）
 - ・ FP資格保有者数（FP 1 級・FP 2 級）は減少しました（図14）

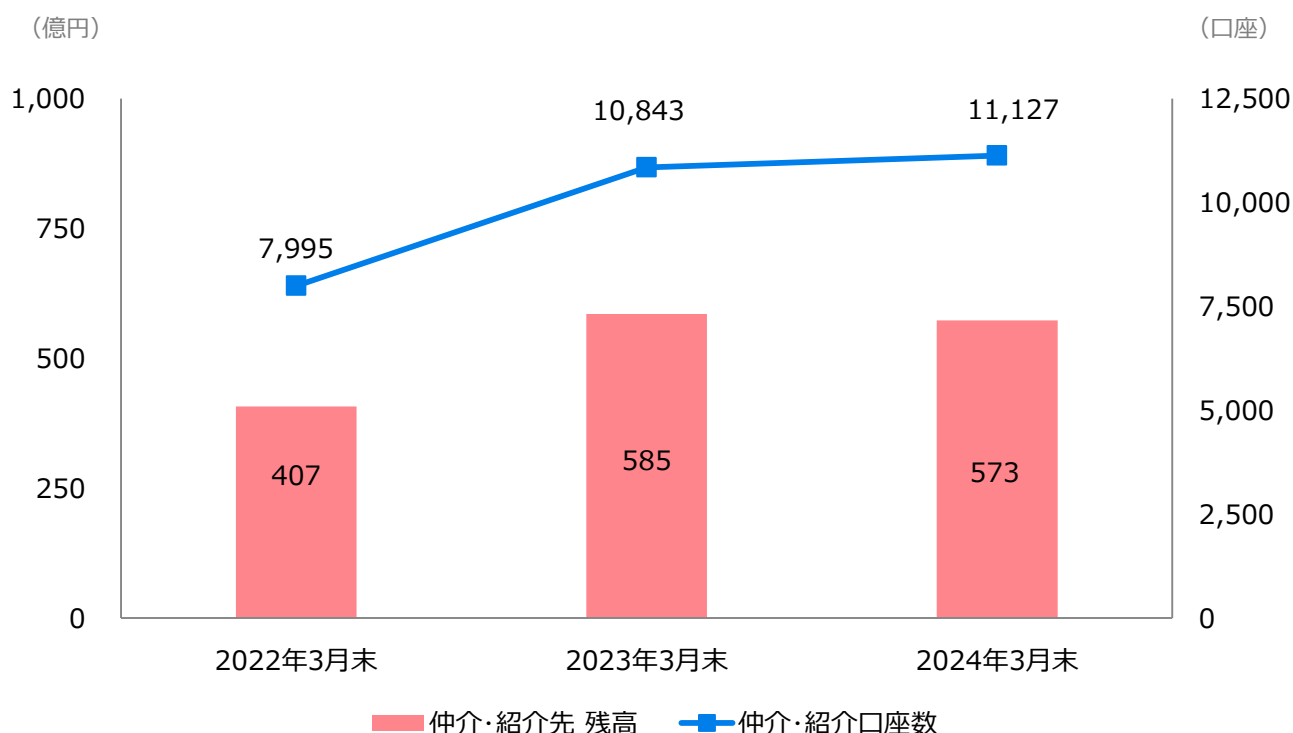
（図12）

投資信託残高・口座数



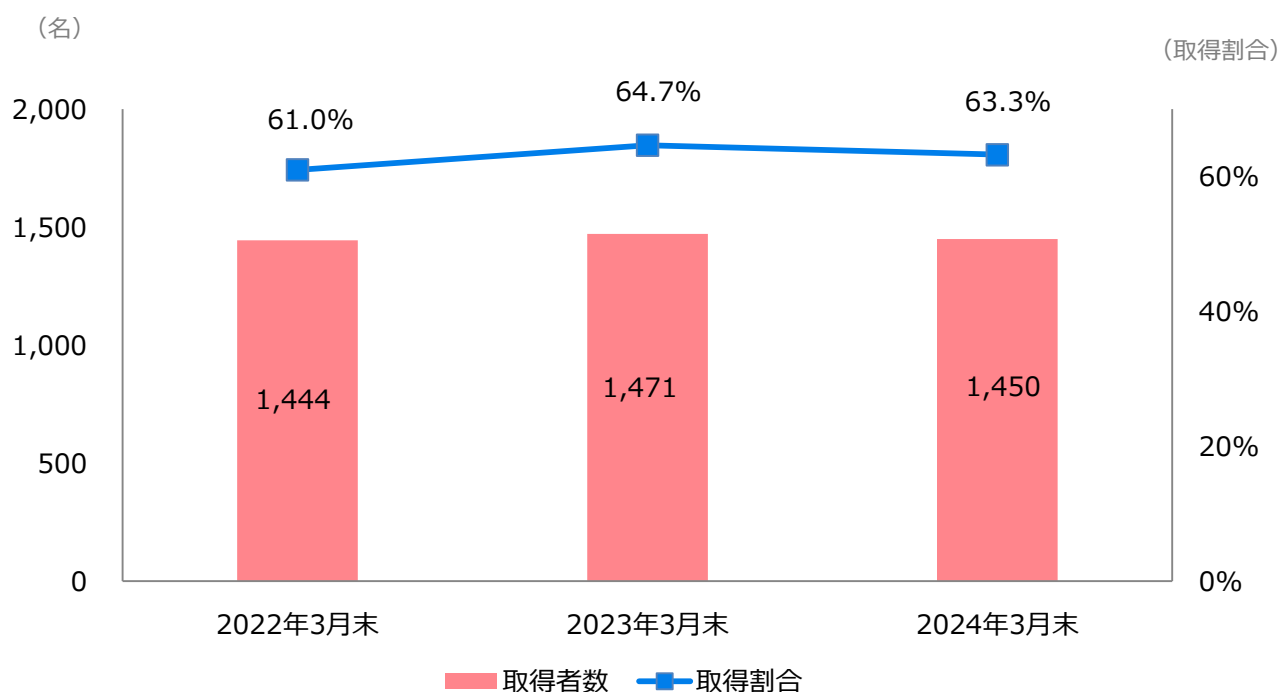
(図13)

南都まほろば証券 金融商品仲介残高・口座数



(図14)

FP資格保有者数（FP1級・2級）



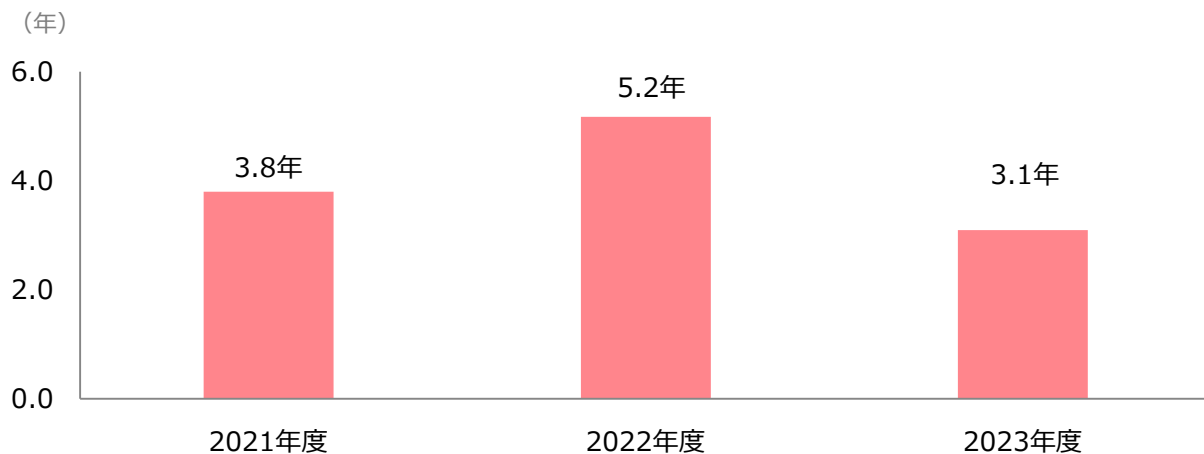
お客さまにふさわしいサービスの提供

- ✓ ライフプランガイド等のツールを用いてお客さまのライフステージやニーズに寄り添ったご提案を行っています（取組方針 5（1）アクションプラン①）（図26）
- ✓ お客さまをよく知るため、「お客さまインタビューシート」等を用いてお客さまと双方向の対話を重視しています（取組方針 5（1））（図27）
- ✓ 資産運用のご提案については、「長期・積立・分散」投資を基本軸とし、長期安定的な資産形成をサポートしています（取組方針 5 アクションプラン②）
 - 投資信託の平均保有期間は短くなりましたが、10年以上保有いただいているお客さまの90%以上のお客さまが運用損益でプラスとなり、その内半数以上が運用益 + 50%以上となりました（図15・16）
 - 時間分散による投資効果のコンサルティングに努めた結果、投信積立契約数、投資信託口座数に占める投信積立ご利用口座数の割合ともに前年比増加しました（図17）
 - 年間投信積立振替額については、前年比増加しました（図18）
 - 投信積立運用損益別お客さま比率における運用損益プラスのお客さまの比率は前年比14.8ポイント上昇し、95.6%と高水準を維持しています（図19）
 - 投信積立サービスの積立期間10年以上のお客さまの96%が運用損益プラスとなり、その内約60%のお客さまが運用益 + 50%以上となりました（図20）
 - 税制優遇制度を利用した資産形成のご案内を行っており、NISAのご契約者数は増加しています（図21）
- ✓ 2023年の投資信託商品ラインナップについて、外部評価機関の評価も参考にしながら、不足するカテゴリーを補完するため、店頭取扱商品を43商品から50商品に見直しました。販売動向は今後も継続的にモニタリングを行い、提供商品の品質を維持してまいります
- ✓ 金融セミナーを開催し、お客さまの資産形成に係る知識の向上のサポートを行っています（取組方針 5（2）アクションプラン⑩）（図22・23）
- ✓ ご契約後の保有資産の状況や市場動向について、お客さまのご年齢や損失状況等を基準として一斉アフターフォローの時期を設け、継続的なコンサルティングに取り組んでいます（取組方針 5（3）アクションプラン⑨）
 - アフターフォローの実施状況（図24・25）

(図15)

投資信託平均保有期間

- ✓ 投信信託の平均保有期間は、株式相場の急激な上昇等で、利益確定の解約が多くなったことが影響し、前年比2.1年短い3.1年となりました

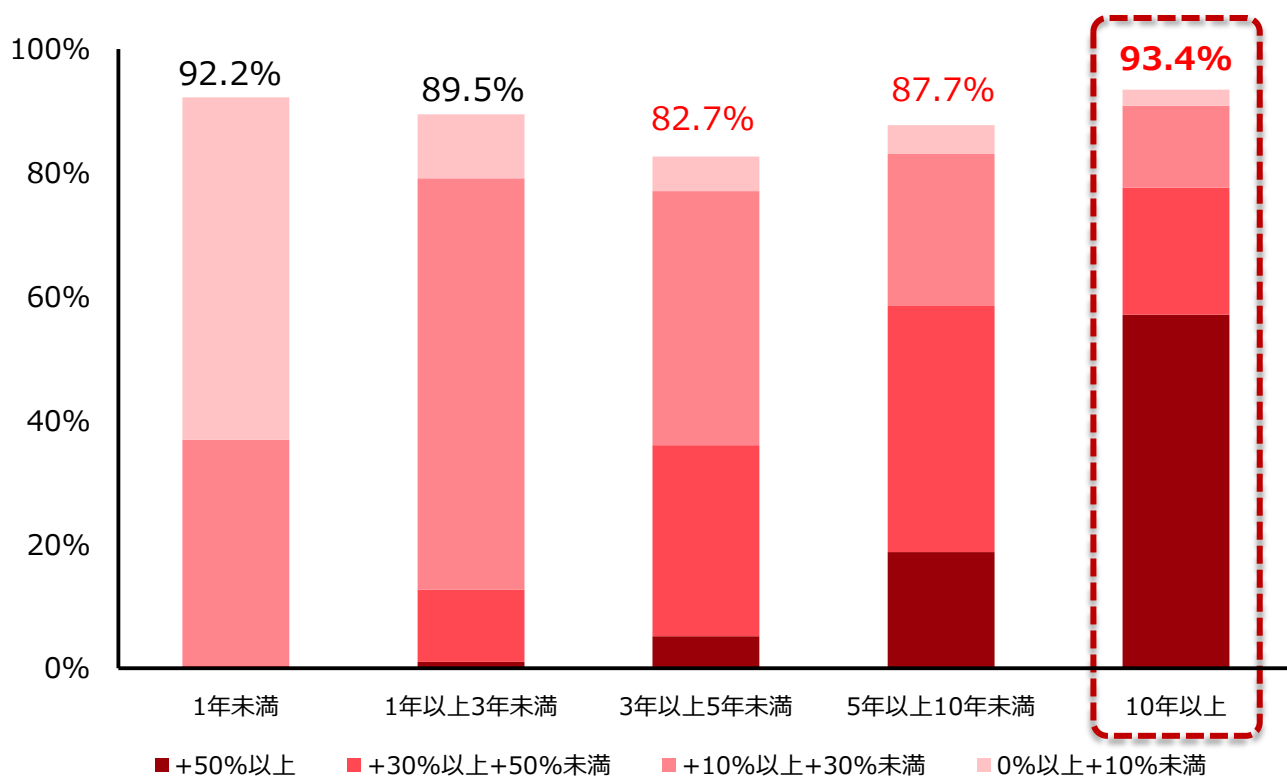


※平均保有期間は、「 $((N-1)\text{年度末} + N\text{年度末残高}) \div 2 \div (\text{年間の解約額} + \text{償還額})$ 」で算出しています

(図16)

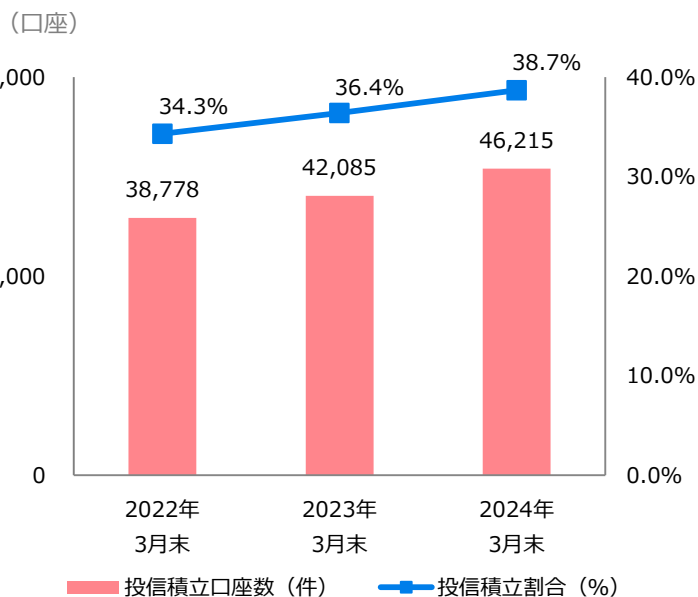
保有期間別の運用損益プラスのお客さま比率

- ✓ 10年以上保有いただいているお客さまの90%以上が運用損益プラスとなり、その内半数以上のお客さまは運用益が+50%以上となりました

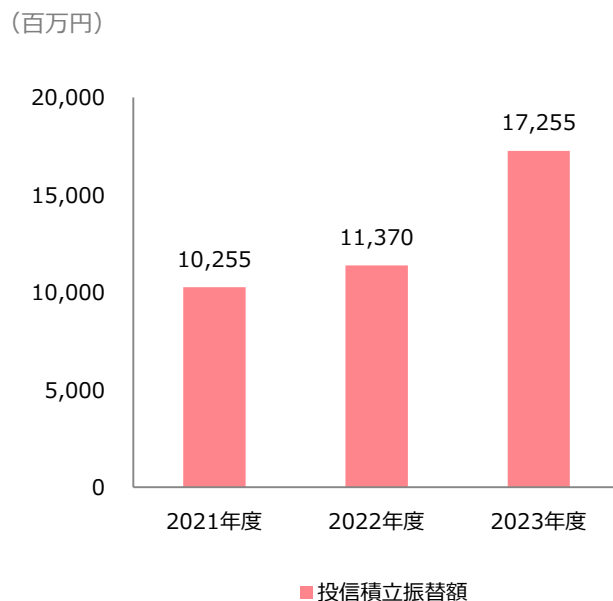


※上記指標は、南都銀行単独で算出した投資信託保有期間に応じた運用損益がプラスのお客さまの割合を示しています

(図17) 投信積立契約数

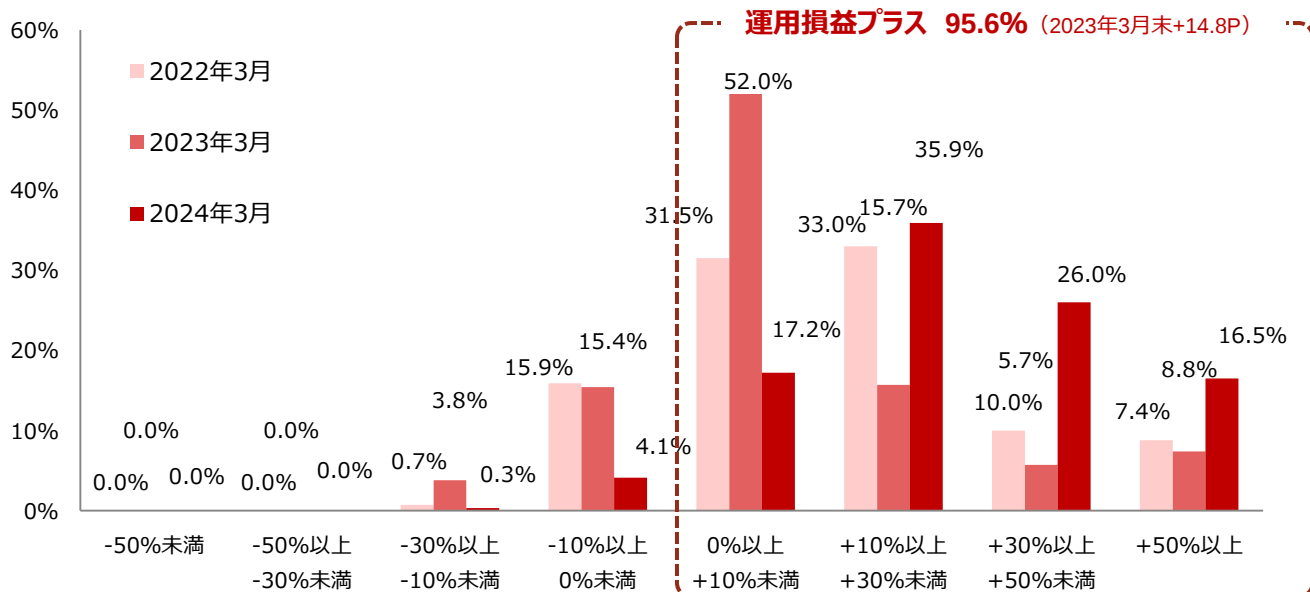


(図18) 年間投信積立振替額



※投信積立割合は、投資信託口座のうち、投信積立契約が付帯されている口座の割合
 ※上記 (図 1 7 および図 1 8) の指標は南都銀行単独で算出しています

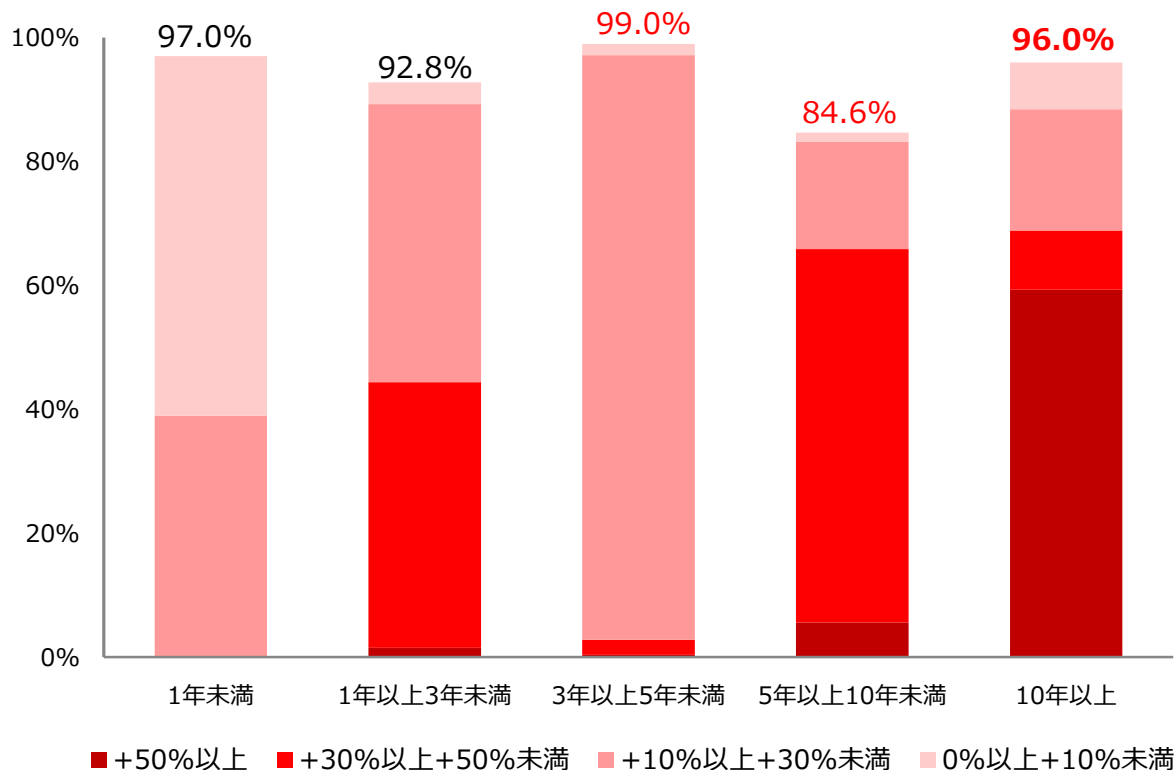
(図19) 投信積立運用損益別お客さま比率



※上記指標は南都銀行単独で算出しています

(図20) 投信積立サービスの積立期間別の運用損益プラスのお客さま比率

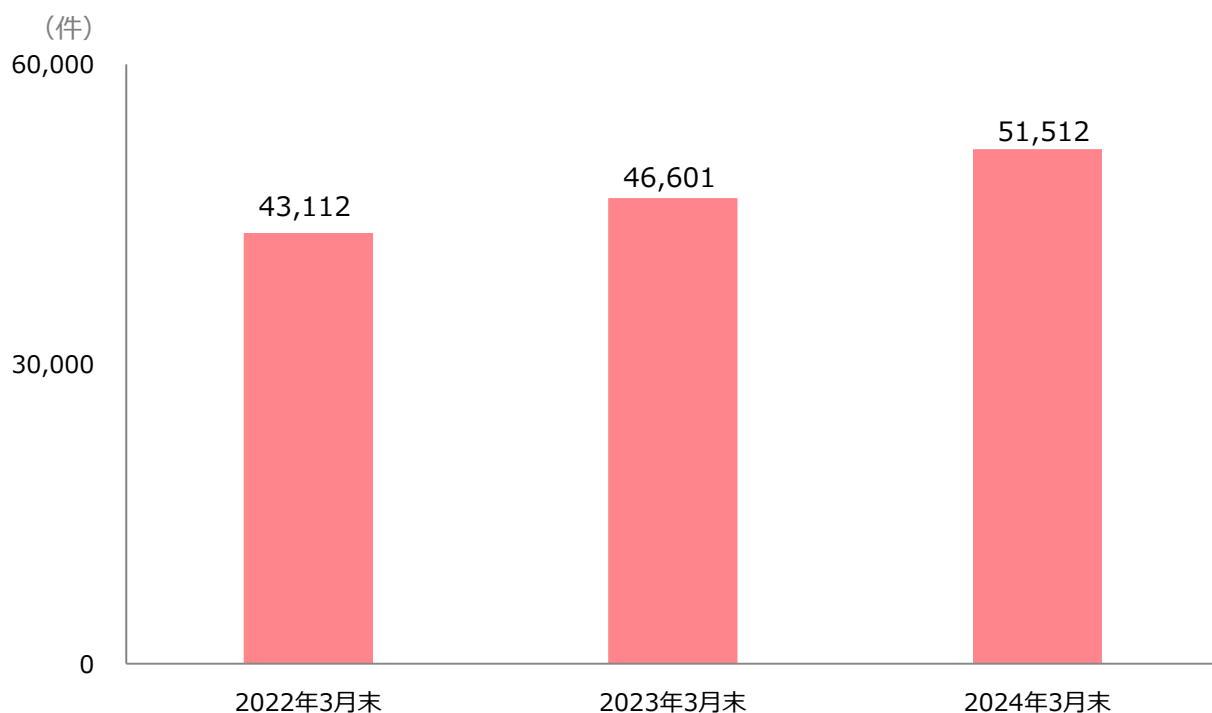
- ✓ 積立期間10年以上のお客さまの96%が運用損益プラスとなり、その内約60%のお客さまは運用益が+50%以上となりました



※上記指標は南都銀行単独で算出しています

(図21)

N I S A契約件数



※2022年3月、2023年3月の契約件数は、つみたてNISAの契約件数を含めています

お客さま向けセミナーの開催状況

✓ 新しいNISA制度や「長期・分散・積立」をテーマとした幅広いお客さまを対象としたセミナーから、新入社員向けや、退職後層のお客さまへの「相続・信託」をテーマとしたセミナーまで、営業店・本部がそれぞれ主体となり、計79回開催しました

(図22)

セミナー開催状況

開催主体	開催回数	参加人数
本部開催	20回	665名
営業店開催	59回	981名
合 計	79回	1,646名

テーマ	セミナータイトル（一部抜粋）
資産形成	・新入社員向け資産形成セミナー ・新しいNISA制度のかしい活用方法 ・ナントではじめるNISAとiDeCoセミナー
ライフステージ	・ライフプランと貯蓄 ・介護の基礎知識 ～安心できる介護の準備～
相続・贈与	・遺言を活用した相続対策 ・生前贈与セミナー
その他	・アテンド型「介護・贈与セミナー」 ・iDeCo+導入セミナー

<NISAに関するセミナーの様子>



(図23)

金融教育への取組

- ✓ 高校生向けの金融教育動画を作成し、奈良県の高校に提供しました
- ✓ 当行のホームページに資産形成にかかる情報提供サイト「ナントと一緒に学ぼう！ おかねの話」をオープンしました
- ✓ 当行のホームページにある、資産形成にかかる情報を動画で提供する「＜ナント＞で資産形成！ 動画セレクション」では、随時動画を追加しています
- ✓ 金融リテラシー向上のため大学で出張授業を実施しました
- ✓ 奈良県の地方公共団体とNISAやiDeCoに関する金融教育セミナーを共催し、市民の皆さまに新しいNISAの制度などを分かりやすく情報提供しています

金融教育に関する資料（一部抜粋）

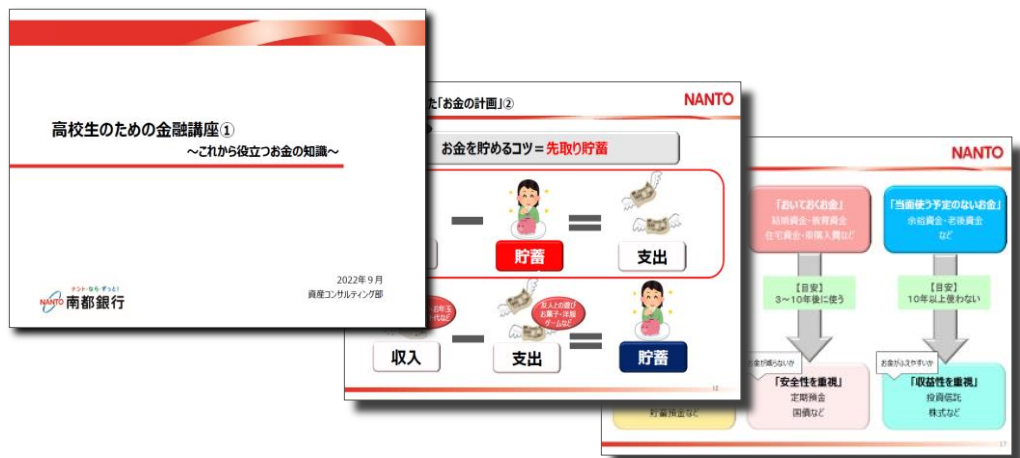
「ナントと一緒に学ぼう！ おかねの話」



「＜ナント＞で資産形成！ 動画セレクション」



「高校生のための金融動画」

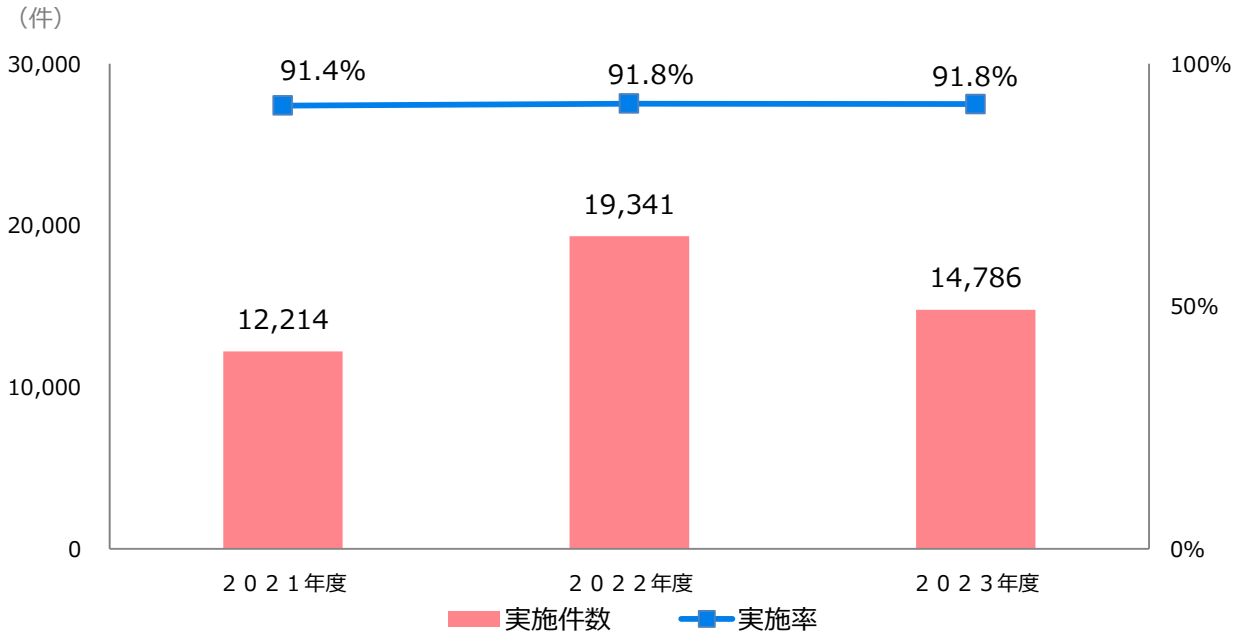


アフターフォローの実施状況

- ✓「運用損先」（運用損5%かつ30万円以上）や「高齢先」（80歳以上）等の抽出条件に該当するお客さまに対してアフターフォローを実施しており、投資信託・生命保険ともに9割超の実施率を維持しています
- ✓上記以外のお客さまに対しても、マーケットや保有されている商品の特性に応じて随時アフターフォローを実施しています

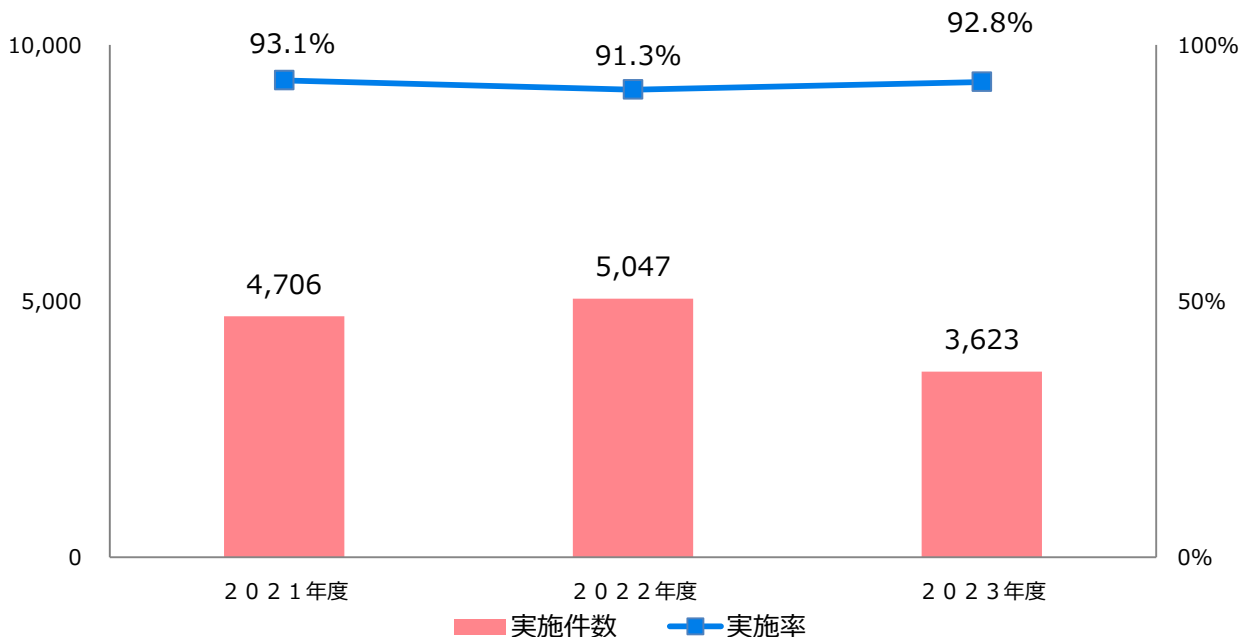
(図24)

投資信託のアフターフォローの状況



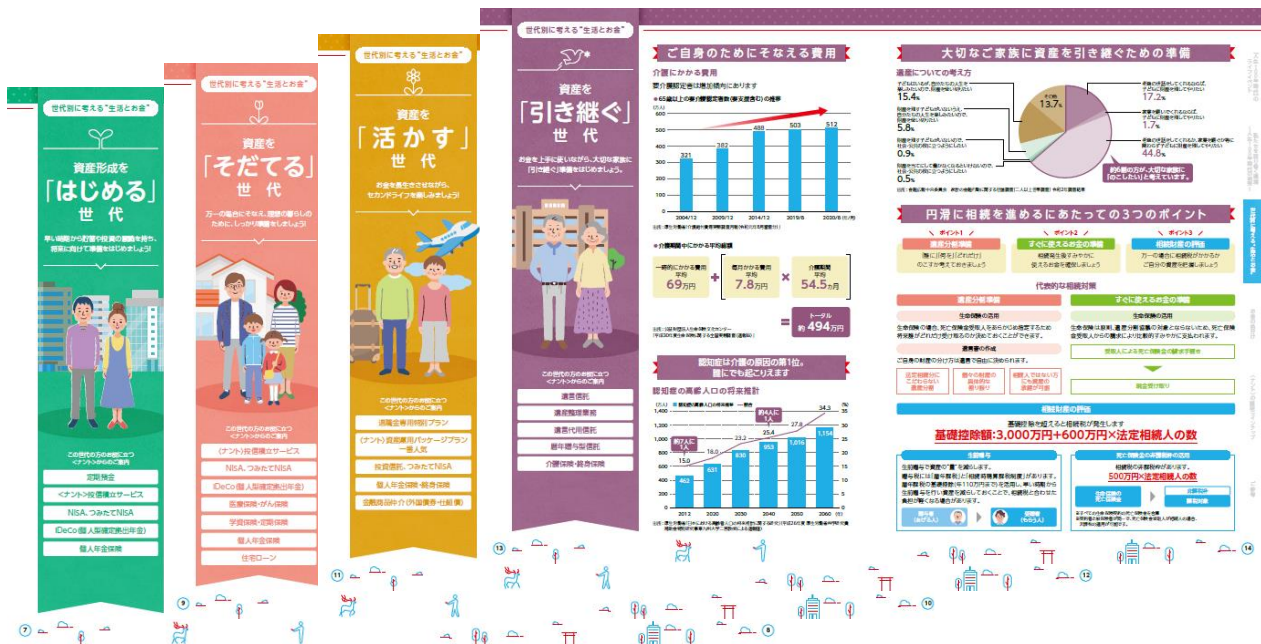
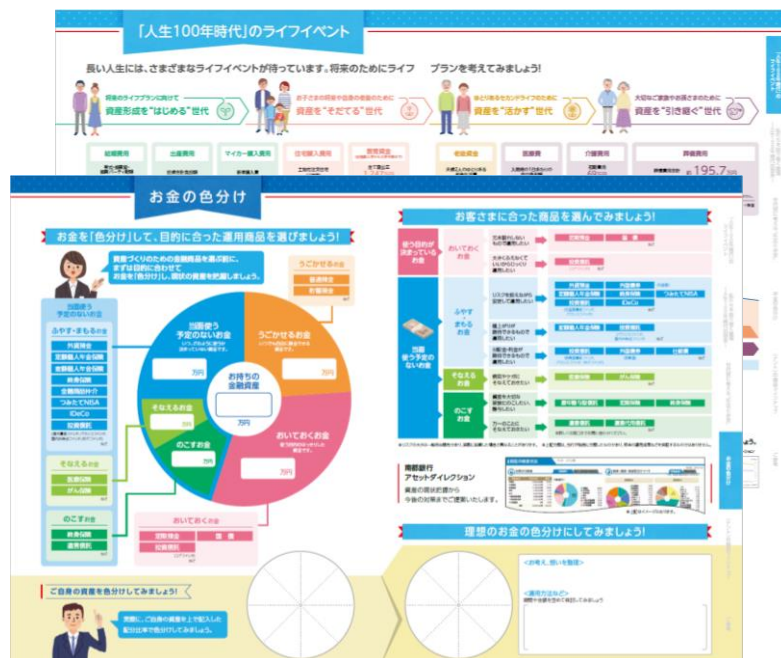
(図25)

生命保険のアフターフォローの状況



(図26)

《参考》ライフプランガイド



《参考》お客さまインタビューシート

年 月 日

お客さまインタビューシート

長い人生には、さまざまなライフイベントが待っています。
ナントと一緒に『ライフプラン』を考えてみましょう！

☆お名前（ ） ☆ご年齢（ ） 歳
☆ご職業 1.会社員 2.自営業 3.年金生活者 4.主婦（夫） 5.その他（ ）

お客さまはどのようなことに興味・関心をお持ちですか？
夢や目標について一緒に確認しましょう！

ほしめる、どきどき世代

興味あり 解決済

お客さまの夢・目標

☐	両世代がこれからお金を貯めているか気になる
☐	結婚資金や住宅購入費用を貯めたい
☐	子どもの教育にはしっかりとお金をかけたい
☐	病気になったときにお金のごとを気にしたくない
☐	加入している保険を見直しで支出を減らしたい
☐	万一の弊にこの世代に家族への生活費を用意したい

興味あり 解決済

お客さまの夢・目標

☐	老後はゆとりのある生活をしたい
☐	お金を残させる方法が知りたい
☐	セカンドライフは趣味や旅行などの楽しみをしたい
☐	親の相続・介護に向けてそなえたい

ほめる世代

引に懸く世代

興味あり 解決済

お客さまの夢・目標

☐	元氣なうちにお金をわたして家族の喜ぶ顔がみたい
☐	お世話になっている家族にお金をこした
☐	相続税の負担をおさえたい・納税資金を準備したい
☐	介護状態や認知症にそなえたい

～ご協力ありがとうございました～

※本日より取得済としたお客様の個人情報はご共有してはなりません。

●本ページの掲載内容は、事例であり、実際のご相談と一致するものではありません。●本ページの掲載内容は、事例であり、実際のご相談と一致するものではありません。

《参考》 ポートフォリオ提案・複数の商品比較ツール (Wealth Advisors)

The screenshot shows the 'Wealth Advisors' section of the Nambu Bank website. The page is divided into three main columns: 'ファンド情報' (Fund Information), 'アドバイズール' (Advisor), and 'マーケット情報' (Market Information). The 'ファンド情報' column includes links for 'ファンド一覧' (Fund List), 'ポートフォリオ作成' (Portfolio Creation), and 'ライフプラン' (Life Plan). The 'アドバイズール' column includes 'iDeCo・つみたてNISAのご案内' (iDeCo and NISA Guide). The 'マーケット情報' column includes '全ファンド検索' (All Fund Search), 'ランキンング一覧' (Ranking List), and '読み物コンテンツ' (Reading Content). Annotations in Japanese boxes provide details about each feature: 'ファンド一覧' allows for easy comparison of fund categories; 'ポートフォリオ作成' is for creating a portfolio based on investment style; 'ライフプラン' offers life plan-based portfolio proposals; 'iDeCo・つみたてNISAのご案内' provides explanations and simulations; '全ファンド検索' allows searching for specific funds; 'ランキンング一覧' shows various fund rankings; '読み物コンテンツ' includes articles on asset utilization; and 'マーケット情報' provides market news and trends.

ファンド情報
 カテゴリ別一覧が簡単にできます。個別ファンドの詳細な情報（基準価格やチャート、評価情報、購入・解約シミュレーション、レポートなど）のほか、ファンドの比較・組み合わせ等もできます。

アドバイズール
 はじめてファンドを導入される方に合わせたポートフォリオ提案が出来ます。

マーケット情報
 為替や株価動向など、マーケットを把握できる情報が掲載されています。

全ファンド検索
 自社のみならず他社取扱ファンドの情報を確認・比較できます。

ランキンング一覧
 取扱いファンドの各種ランキンングが確認できます。

ライフプラン
 ライフプランに沿ったポートフォリオのご提案ができます。

iDeCo・つみたてNISAのご案内
 iDeCo・つみたてNISAの説明やシミュレーションを行うことができます。

ポートフォリオ作成
 お客様のご意向を確認しながら、お客様の投資スタイルに沿ったポートフォリオをご提案することができます。

各種読み物
 資産運用についてお客様に役立つ情報を掲載しています。

Figure 1 illustrates the process of setting financial goals and selecting investment funds on the 'My Future' (マイ未来) website. The process is divided into four main steps:

- Step 1: Setting Financial Goals** (目標設定). The user sets goals for retirement and education. The retirement goal is set at 300 million yen, and the education goal is set at 100 million yen. The user also selects the desired return rate (e.g., 2.7%).
- Step 2: Selecting Recommended Funds** (推奨する資産配分が表示され、それそのカテゴリのファンドを選択できます). The user selects from a list of recommended funds, including domestic and international equity funds, and fixed income funds.
- Step 3: Detailed View of Selected Funds** (推奨する資産配分が表示され、それそのカテゴリのファンドを選択できます). The user views the details of the selected funds, including their asset allocation and expected returns.
- Step 4: Summary of Selected Funds** (推奨する資産配分が表示され、それそのカテゴリのファンドを選択できます). The user views a summary of the selected funds and their expected returns.

《参考》

(図28) 投資信託取扱商品数

当行

カテゴリー		商品数	商品比率	
国内	株式	18	14.6%	22.0%
	債券	5	4.1%	
	REIT他	4	3.3%	
海外	株式	39	31.7%	64.2%
	債券	30	24.4%	
	REIT他	10	8.1%	
バランス型		17	13.8%	13.8%
合計		123	100.0%	100.0%
うちインターネット専用		73	59.3%	59.3%

(図29) 投資信託販売上位10銘柄

順位	商品名	カテゴリー
1	日経 2 2 5 ノーロードオープン	国内株式
2	ひふみプラス	国内株式
3	フィデリティ・リート・アクティブ・ファンド	国内REIT
4	インデックスファンド 2 2 5	国内株式
5	SMTグローバル株式インデックス・オープン	海外株式
6	SMTダウ・ジョーンズインデックス・オープン	海外株式
7	ニッセイ・インド厳選株式ファンド	海外株式
8	つみたて米国株式 (S&P 5 0 0)	海外株式
9	新光US－REITオープン	海外REIT
10	のむらップ・ファンド(普通型)	バランス

南都まほろば証券

カテゴリー		商品数	商品比率	
国内	株式	12	11.2%	14.0%
	債券	1	0.9%	
	REIT他	2	1.9%	
海外	株式	51	47.7%	70.2%
	債券	16	15.0%	
	REIT他	8	7.5%	
バランス型		6	5.6%	5.6%
その他		11	10.2%	10.2%
合 計		107	100.0%	100.0%

順位	商品名	カテゴリー
1	世界半導体関連フォーカスファンド	海外株式
2	モルガン・スタンレー社債/BASIC戦略 F2023-06	その他
3	Jプレミアム・インカムファンド (年1回決算型)	その他
4	三菱UFJマッコーリーグローバルインフラ債券ファンド為替ヘッジあり(毎月分配型)	海外債券
5	ダイワ・J-REITオープン (毎月分配型)	国内REIT
6	東京海上・物価対応バランスファンド (年1回決算型)	バランス
7	ダイワJPX日経400ファンド	国内株式
8	三菱UFJマッコーリーグローバルインフラ債券ファンド為替ヘッジなし (毎月分配型)	海外債券
9	ダイワ・US－REIT・オープン (毎月決算型)BCコース	海外REIT
10	のむらップ・ファンド(普通型)	バランス

《参考》 (図30)

生命保険取扱商品数

保険料支払	カテゴリー	通貨	商品数	商品比率
一時払	定額終身保険	円建	3	2.7%
		外貨建	13	11.8%
	定額個人年金	円建	0	0.0%
		外貨建	4	3.6%
	変額終身保険	円建	0	0.0%
		外貨建	0	0.0%
	変額個人年金	円建	0	0.0%
		外貨建	0	0.0%
平準払	定額終身保険	円建	0	0.0%
		外貨建	0	0.0%
		円建	6	5.5%
		外貨建	5	4.5%
	定額個人年金	円建	1	0.9%
		外貨建	2	1.8%
	変額終身保険	円建	1	0.9%
		外貨建	1	0.9%
	養老保険	円建	0	0.0%
		外貨建	1	0.9%
	学資保険	円建	2	1.8%
	医療保険	円建	25	22.7%
	がん保険	円建	10	9.1%
	収入保障保険	円建	9	8.2%
	定期保険	円建	6	5.5%
	就業不能保険	円建	3	2.7%
	介護保険	円建	5	4.5%
	特定疾病保障保険	円建	5	4.5%
	認知症保険	円建	3	2.7%
	薬剤治療保険	円建	1	0.9%
	その他（火災保険等）	円建	4	3.6%
合 計			110	100.0%
うち ほけんの窓口専用商品			77	70.0%

《参考》 (図31)

生命保険販売上位10商品

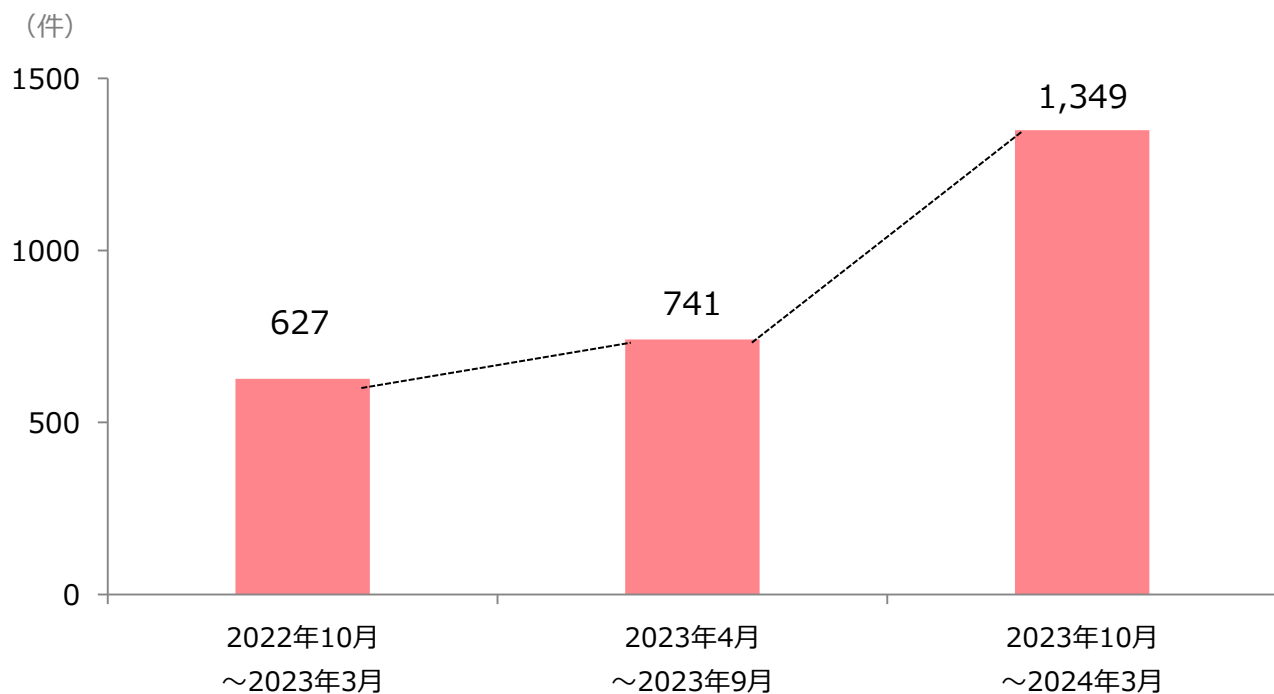
- ✓ 販売額上位の大半がゆとりある老後生活の実現に向けて、年金を準備する商品です
- ✓ お客さまのニーズに沿って、「相続・贈与」に対応した提案も行っています

順位	商品名	カテゴリー
1	プレミアカレンシー3	個人年金保険
2	あしたの、よろこび2	個人年金保険
3	はじめての介護	終身保険
4	生涯プレミアワールド5	終身保険
5	しあわせ、ずっと3	終身保険
6	おおきなまごころ2	終身保険
7	ふるはーとJロードプラス	終身保険
8	プレミアストーリー4	終身保険
9	やさしさ、つなぐ2	終身保険
10	サニーガーデンEX	終身保険

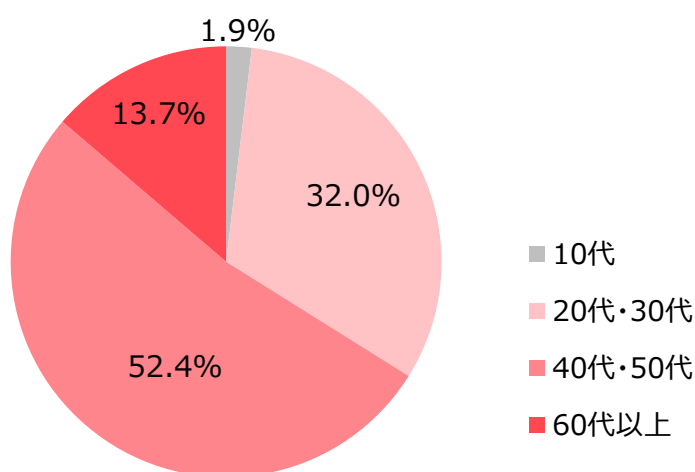
《参考》 (図32) スマホ完結投資信託口座開設サービス

- ✓ 2022年10月からお客さまに対する利便性を高めるため、スマホ完結投資信託口座開設サービスを開始しました

＜スマホによる口座開設数＞



＜スマホによる口座開設 年齢層別内訳＞



重要な情報のわかりやすい提供・手数料等の明確化

- ✓ 手数料やその他の重要な情報については、重要情報シート、契約締結前交付書面・目論見書、商品概要・設計書等の説明資料や、タブレット端末等を活用し、分かりやすく丁寧な説明を行っています（取組方針3（1）アクションプラン①②③④）（取組方針4（1）アクションプラン①②）（図33）
- ✓ 手数料・報酬の料率・金額・内容等については、「ファンドラインナップ」や「契約締結前交付書面」等を用いて丁寧な説明に努めるとともに、タブレットにて概算をお示しし、ご理解いただいたうえで、お申込みいただいています（取組方針3（1）アクションプラン①②③④）（図34）

(図33) 《参考》重要情報シート

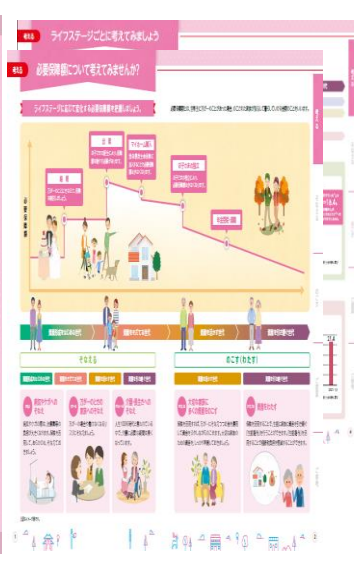
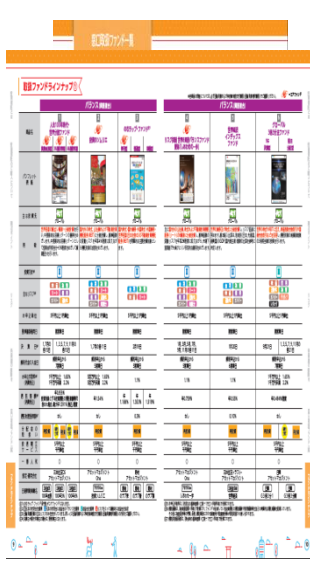
(金融事業者編)

一部の特許商品・金融商品の販売、販売先となる 重要情報シート（金庫事業専用）	 南都銀行
1. 当行の取扱い商品（当行はお客様さまに金融商品の販売または販売代理を行う者です）	
仕組 登録番号 加入協会 当行の取扱いを認めたWEBサイト	株式会社南都銀行 登録第XXXX号 立派財務局長（監査）第15号 日本証券業協会 「https://www.nantobank.co.jp/company/」 
2. 取扱商品（当行がお客様さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）	
内国債 ○ 国内株式 ○ 外国債券等^(注1) ○ 外国債 ○ ファンド投資^(注2) ○ 保険（投資リスクなし） ○^(注3) 保険（投資リスクあり） ○^(注4) 上場取引の商品等	外貨預金 ○ 外国株式 ○ 外国債券 ○^(注5) 特種な債券（外国債等） ○^(注6) ETF・ETN ― REIT ― その他の上場商品 ― NISA・つみたてNISA、iDeCo等の口座、資産運用に関するサービスもご利用いただけます。 証券会社との連携による商品の取寄せなどは、後掲ページのご紹介で行っています。
（※1）事業専従者（医師、電子商売、（※2）業務専任者および専任職員となります）	
（※3）証券・インターネットにて取扱商品は1週間～約1ヶ月（※4）国債・国債以外の金融商品については取扱範囲が一部異なります	
3. 商品ラインナップの考え方（商品提供とお客様のニーズとのマッチングのとおりです）	
■「お客さまご自身の価値観や将来の目標に合う商品」について、地域の皆さまの意識を「見えていただくため、お客さま一人ひとりの心身の発達段階、ニーズを満たすうえで、よりリアルな声にお応えできるよう多岐分野のシンポジウムを開催しています。」 ■「ラインナップについては必ずしも、お客さまのニーズにすべて対応するものではありません。お客さまのライフスタイル、リスク・リターンや運用期間、負担能力などの条件、商品価格の変動リスク等を慎重に考慮し、外部評価機関の評価も参考にしながら最も適切な商品、サービスの選択を行います。」 ■社会情勢・投資環境の変化やその他の市場の変動に対応できるように、ラインナップについて適宜見直しを行います。	
4. 窓口・相談窓口	
当行のお客さま専用ダイヤル （平日：9:00～17:00） ※土日曜・年末年始を除く 加入協会員向け専用ダイヤル （平日：9:00～17:00） ※土日曜・年末年始を除く	●本都に在住・勤務、合計お客数 当行のお客さまのみ（兼業・パートタイマー）（金融商品ネット） 0742-24-1855 ●当行への来店、一般見舞 営業所入り口 0742-27-1525 ●一般社団法人 全国銀行協会 全国銀行振替センター 0570-017109 ●一般社団法人 日本証券業協会 03-5252-3772 ●特定信用評定法に基づき、証券・金融商品においても同級センター 0120-64-5005 ●一般社団法人 日本生命保険会 生命保険相所 03-3286-6468 - 金庫用金庫サービス利用相所 0570-016811 （平日：10:00～17:00） 03(2)525-6811

(個別商品編)

[illegible]

(図34) 《参考》 ファンドラインナップ^o



保険ガイドブック

《参考》 お客さま本位の実践に向けた従業員の動機付けや企業文化定着への取組

- ✓ 全ての役職員がお客さま本位の意識を共有・実践していく企業文化の定着に向けて、従業員向けの研修を実施しています (図35)

(図35) FD関連研修、勉強会等の開催状況

研修・勉強会	実施回数	参加数（延べ）
営業店長・役席者・営業担当者向け	6回	3,270名
営業責任者・内部管理責任者向け	2 1 回	2,716名
各営業店内での勉強会	3 回	6,771名
従業員の動機付けや企業文化定着に向けた動画・資料配信	1 2 回	－
合計	4 2 回	12,757名

《参考》 勧誘方針について

- ✓ 適切な商品勧誘を目的にお客さまに商品を提案する前に必ず勧誘方針を明示します

当行は、金融商品の販売にあたり、各種法令・諸規則等に則り、下記の方針に沿って適切な勧誘を行います。

勧誘の基本姿勢について

1. お客さまの知識、経験、財産、投資目的の状況に照らして、適切な商品を勧誘するように努めます。
2. 商品の選択・購入については、お客さまご自身の判断と責任でお決めいただけますよう、お客さまが判断されるために必要な商品内容やリスク内容などの適切な情報を提供するよう努めます。

勧誘の方法について

3. 「不確実な事項について断定的判断を提供しない」、「事実と異なる情報は提供しない」、「お客さまに不利益となる情報であっても提供する」など、お客さまの誤解を招かない説明に努めます。
4. お客さまにとって意思に反する不都合な時間帯、方法、ご迷惑な場所での勧誘や、執拗かつ迷惑な勧誘は行いません。

その他

5. お客さまに適切な勧誘を行いますよう、行内規定を整備のうえ、本勧誘方針を徹底し、関係法令を遵守すると共に、当行の役職員は商品知識の習得に努めます。
6. 販売・勧誘に関するお客さまからのご照会等については、適正な対応に努めます。

お客さまのお取引についてお気付きの点がございましたら、お取引店または以下にお問い合わせ下さい。

資産コンサルティング部	
金融商品センター	0742-24-1855
営業サポート部	0742-27-1525